



2024 (令和6) 年 9月 3日



第6号

伊賀市立柘植小学校

HP二次元コード 校長 松本 徹

成功体験を積み上げていく2学期に

8月28日(水)から80日間の2学期がスタートしました。

台風10号の影響をずいぶん心配しましたが、当初の予想より進路も速度も大幅に変わったため、初日から子どもたちは無事に登校することができました。



始業式では、私の方から「パリオリンピック」や「南海トラフ巨大地震」についての話をしましたが、どの子もしっかりと聞いていました。子どもたちには、日々の安全を第一に、自分の2学期の目標を実現できるよう取り組んでもらいたいと考えています。そして、一人ひとりが日常の学習の中でつけた力を、低学年遠足・社会見学・修学旅行等の校外学習や、西柘植小・壬生野小との三校交流会、柘植小フェスティバルなどを通してさらに伸ばしていきたいと考えています。子どもたちが成功体験を一つ一つ積み上げていけますよう、今学期も本校の教育活動へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

9月の行事予定

3日(火)	給食開始	13:50下校	22日(日)	秋分の日
4日(水)	避難訓練	※予備日5日	23日(月)	振替休日
6日(金)	6年生修学旅行説明会		25日(水)	水曜集会
9日(月)	委員会活動		27日(金)	5年生命の育み教室
10日(火)	職員研修のため	14:45下校		授業参観(5限目)
11日(水)	育友会一斉登校指導		30日(月)	委員会活動
12日(木)	4年生社会見学			
16日(月)	敬老の日			
18日(水)	児童会役員選挙			



令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果より

今年度が始まってすぐの4月18日（木）に、6年生児童を対象に実施された全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省から公表されましたのでお知らせします。この調査は、現在の子どもたちの学力や学習に関わる状況を把握し、授業や生活の改善に役立てることを目的に毎年行われています。今年度は、国語・算数の2教科と児童質問紙調査が行われました。（次回令和7年度は、国語・算数・理科の3教科で実施されます。）

1. 学力調査の結果について

柘植小学校	全国と比較して
国語の平均正答率	やや上回っている
算数の平均正答率	上回っている

※全国と比較して、「やや上回っている」とは全国の平均正答率に対して+2%以上+5%未満であること、「上回っている」とは全国の平均正答率に対して+5%以上であることを表しています。

2. 設問ごとの結果から分かった柘植小学校の子どもたちの強み（◇）と課題（◆）

<国語> ※（ ）は全国の正答率

◇学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

【問題】①きょうぎ（競技）の作戦を考えたりします。

⇒本校正答率60.0%（43.4%） +16.6

②上級生が遠くからボールをなげる（投げる）。

⇒本校正答率80.0%（76.0%） +4

◇目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

【問題】【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く。

⇒本校正答率93.3%（56.6%） +36.7

◇文の中における主語と述語との関係を捉える。

【問題】物語の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する。

⇒本校正答率80.0%（62.3%） +17.7

◇人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。

【問題】物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く。



⇒本校正答率93.3% (72.6%) +20.7

◆目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。

[問題] オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したのとして、適切なものを選択する。

⇒本校正答率46.7% (63.8%) -17.1

◆目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にする。

[問題] 高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したのとして、適切なものを選択する。

⇒本校正答率60.0% (80.3%) -20.3

◆人物像を具体的に想像することができる。

[問題] 【話し合いの様子】で、原さんが物語の何に着目したのかについて説明したのとして、適切なものを選択する。

⇒本校正答率60.0% (72.5%) -12.5

<算数> ※ () は全国の正答率

◇計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる。

[問題] $350 \times 2 = 700$ であることを基に、 350×15 の積の求め方と答えを書く。

⇒本校正答率80.0% (56.9%) +23.1

◇除数が小数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係について理解している。

[問題] 除数が1/10になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ。

⇒本校正答率93.3% (69.1%) +24.2

◇球の直径の長さと同様体の一辺の長さの関係をつかえ、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。

[問題] 直径22 cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。

⇒本校正答率73.3% (36.5%) +36.8

◇折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できる。

[問題] 折れ線グラフから、開花日の月について読み取り、3月と4月の開花日の回数の違いを、言葉と数を使って書く。

⇒本校正答率80.0% (42.2%) +37.8

◆速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。

[問題] 3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く。

⇒本校正答率66.7% (70.0%) -3.3

3. 児童質問紙調査より(抜粋) ※ () は全国の割合

(1) 将来の夢をもっている。 ⇒ 93.3% (82.4%) +10.9

(2) いじめはどんな理由があってもいけない。 ⇒ 100% (96.7%) +3.3

(3) 人の役に立つ人間になりたい。 ⇒ 100% (95.9%) +4.1

(4) スクリーンタイムについて、家の人と約束したことを守っている。

⇒46.7% (81.1%) -34.4

※スクリーンタイムについての約束がない 26.7% (9.8%) -16.9

(5) 分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学びを考え、工夫することができる。 ⇒ 60.0% (80.7%) -20.7

4. 調査全体の結果より

本校6年生の平均正答率は、国語は「全国と比較してやや上回っている」、算数は「全国と比較して上回っている」という結果でした。学年全体としては、無回答が少なく、全員がとても粘り強く問題に取り組んだことがわかりました。また、柘植小学校の課題の一つであった記述問題については、複数の条件を満たして正確に書けている子が多く、改善に向けて取り組んできた成果が表れていました。

児童質問紙からは、「スクリーンタイムの管理」が大きな課題であることがわかりました。子どもたちがスクリーンタイムを自己管理できるよう、各家庭でデジタル機器の使用について再度ご確認をお願いいたします。

今回の調査を通して明らかになった強みや課題等を、6年生の子どもたちはもちろんのこと、学校全体の授業改善や子どもたちの生活改善に役立てていきたいと思っております。

環境整備作業、ありがとうございました

8月24日(土)には、育友会環境整備作業を実施させていただきました。午前7時から約2時間に渡る作業で、運動場やその周辺、校舎内外等を隅々までとてもきれいにさせていただきました。保護者の皆様、そして地域からご参加いただいた教育ボランティアの皆様、上町寿楽会の皆様、大変暑い中本当にありがとうございました。

